（作成者：クリニカルパス専門部会）

CCR療法を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院：1病日 ／	2病日 ／	3病日 ／	4病日 ／	5病日 ／	6病日 ／	7病日 ／	8～22病日 ／　～　／	23～29病日 ／　～　／	30～44病日 ／　～　／	45～51病日 ／　～　／	52～60病日：退院 ／　～　／	【退院後の生活について】
		治療							治療		治療		
達成目標	・治療について理解できる											・退院指導の内容を理解できる	・治療で体力が低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください。また、下肢の筋力も低下していますので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください ・治療の影響で免疫力が低下しています。風邪などをひきやすい状態ですので、外出時にはマスクを着用し、帰宅後は手洗い・うがいを行ってください 以下の症状がある時はご連絡ください ・38.0℃以上の発熱 ・吐き気や嘔吐 ・尿量が少ない ・のどの痛みがあり、食事や水分が摂れない 【緊急連絡先】 ・診療日時間内 （8：30～17：00） 耳鼻いんこう科外来 ：　0985-85-9889 ・休診日・診療日時間外 7階西病棟 ：　0985-85-1042
		・嘔吐がない ・痛みによる苦痛がない ・便秘がない ・皮膚障害がない											
内服	薬剤師が、持参薬および服薬状況について確認します 	・嘔気を抑える薬を1日1回、夕食後に内服します（4日間） ・痛みに応じて痛み止めを追加します							・嘔気を抑える薬を1日1回、夕食後に内服します（4日間）		・治療をする場合は嘔気を抑える薬を1日1回、夕食後に内服します（4日間）		
治療 （放射線）	・放射線治療部位に印をつけます ・治療は月曜日から金曜日（祝日を除く）に行います ・照射部位の皮膚に起床時、入浴後（清潔にした後）、照射後に保湿剤を塗布します（乾燥している場合は、こまめに塗布してもかまいませんが治療直後はお控えください） ・口腔内の疼痛や口内炎がある場合は、うがい薬の使用や軟膏を使用します ・照射部位の皮膚の掻痒感や皮膚剥離がある場合は保湿剤以外に症状に合わせて軟膏を使用します												
注射	・点滴をします						・点滴を抜きます	約2週間休薬します	・医師の指示で2回目の治療（点滴）をします	約2週間休薬します	・必要時は医師の指示で3回目の治療（点滴）をします		
		・吐き気止めの後に、治療薬を点滴します	・吐き気止めの点滴をします										
検査	・身長・体重測定 		・採血 			・採血 	・採血（毎週月、水、金曜日） ・体重測定（毎週日曜日、退院日）  						
	・排尿毎に尿量を測ってください（毎日） 								・治療中は、排尿毎に尿量を測ってください（毎日）				
食事	・制限はありません ・食欲や飲み込みにくさを確認し、必要に応じて食べやすい形態に変更します  ・痛みに配慮し柔らかい食事の提供や栄養補助食品などを活用します ・嚥下時痛がある場合は、食事前に鎮痛剤の内服や、含嗽薬を使用します												
活動・安静	・制限はありません	・点滴中はなるべく病棟内でお過ごしください ・倦怠感を認める場合は、放射線治療は車椅子を使用し移動します ・歩行時のふらつきがある場合は、看護師が付き添いますのでナースコールでお知らせください 					・制限はありません		・点滴中はなるべく病棟内でお過ごしください	・制限はありません	・点滴中はなるべく病棟内でお過ごしください	
清潔	・シャワー浴ができます 	・シャワー浴ができます ・シャワー浴時は、点滴をしているところを保護しますので、お知らせください					・シャワー浴ができます		・シャワー浴時は、点滴をしているところを保護しますので、お知らせください			・シャワー浴ができます	
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療（薬剤）の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・尿量測定方法について説明を行います ・副作用の対処法を随時お知らせします											・退院後の生活について説明します ・薬剤師が、退院後の薬剤について説明します（退院日）	
その他	・同意書は職員にお渡しください	・吐き気などの副作用症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください ・点滴をしているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください 											
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください										・病棟スタッフが、退院処方の必要性や処方の確認を行います（退院日）	
	・放射線を当てる部位に印をつけています。こすると印が消えますので、決して掻いたりこすったりしないようにしてください ・化学療法中は、尿量測定を行い指示量に達していない場合は、お薬を使用します。開始時の体重より体重が増加している場合は、利尿剤を使用します ・症状に合わせてお薬（整腸剤・下痢止め等）を調整します												

診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。

宮崎大学医学部附属病院
2026年11月承認